



第 1468 回例会報告

平成28年7月21日(木)晴れ

会長挨拶

会長 河西達雄

教育について考え始めたころ

本日は、下諏訪南小学校河西敏夫校長先生お招きしました。先生には本日校長会が開かれているお忙しい中お越しいただきました。本当にありがとうございました。

さて校長先生をお迎えしての例会ですので、大変くちはばったいのですが、若いころの教育について話をさせていただきます。

今からおおよそ35年ほど前、私も子供が小学校に入学するころとなり少し教育に興味があったころです。青年会議所の中で生まれて初めて教育に関する勉強をする機会がありました。現役の中学校の校長先生や、教育長先生などをお願いして結構生意気な口調で30歳そこそこの若い者が、それでも真剣に教育について勉強し討論をしました。

その中で当時の文部省の教育白書に接することがありいわゆるカルチャーショックにあいました。

それは人間の学ぶという課程の話です。

まず人は誰でもものを学ぶ意欲があり、新しい知識を得ると大変喜びに溢れる。やがて知識を深めていくと、その知識を人に教えたいと思うようになる。そして自分の知識を人に教えるという喜びは何にもまして素晴らしい喜びとなる。概略そんな話でした。

PTAの役員をした時も、まずPTAの活動の意義を一緒に勉強してもらい、その考えを一緒に実施してもらおう。そして最後に、その知識を他の人や次年度に伝える。その作業のどこでもおおきな喜びを感じていただける。

私はこの話を長らく信じており、「人の学ぶことを示すもの」と考えていました。

ところが昨年、長野に住む孫の祖父母参観に参加し、校長講話をお聞きしその中で「教育は知識を持ったものが知識のないものに授けるというのは、教育者が陥る最も奢った考えです。教育はともに考える共育、ともに支えあい自らも育つ協育」でなければならないといったお話を聞きました。

「ああ自分もなんと35年も奢っていたな」と思いましたが、全容をよく理解できません。機会があったらまた学びたいとおもいました。

■出席報告

会員数	38名
出席対象	36名
出席者数	31名
出席率	86.1%
前回修正	91.7%

■ニコニコBOX

4名	20,000円
累計	55,000円
目標額	60万円
達成率	9.2%

■今週のこぼ

河西校長先生本日は大変お忙しい中お越しいただきありがとうございます。経験豊富な教育のお話し楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

宮坂英貴

河西校長先生本日は大変お忙しい中お越しいただきありがとうございます。私自身校長先生にはお世話になります。っぱなしで感謝しっぱなしです。本日は先生の熱い卓話を楽しみにしています。

太田淳也

岡谷・下諏訪ロボバトル制作セミナーへのご協力ありがとうございました

御子柴文夫

岡谷・下諏訪ロボバトル制作セミナーへのご協力ありがとうございました

御子柴文夫

宮坂陽子さん、出席ありがとうございました。お体大切に

河西達雄

内孫が生まれました。ジージの意に沿うよう教育します!!

高山巖

18日の町民ゴルフ大会で前半僅か2打大澤プロに及びませんでした。10年ぶりにバーディーでした

丸山美樹彦

LCV小宮でお世話になります。300社からの取材申し込みを受け付け中です。小宮60分から120分で製作します。

倉敷RC 坂本万明



◇幹事報告◇

【理事会報告事項】

1) 例会について

月日	曜日	回	内 容	担 当
8月4日	木	1470	震災6年後・講師卓話例会	社会奉仕
8月11日	木		休会	
8月18日	木	1471	決算報告・受入留学生について	会長・幹事 国際奉仕
8月25日	木	1472	IM実行委員会	IM実行委員会
9月1日	木	1473	がバナー補佐事前訪問例会	会長幹事

2) 8月11日(木)例会休日ですが、諏訪湖クリーン祭り参加します。詳しくはFAXでお知らせします

3) 地区大会の案内について

本年は軽井沢プリンスホテルで開催です。多くの参加を期待します。幹事が中心で進めます

4) RYLA について

RYLA参加希望の方はご連絡ください

第 1468 回例会

コミュニティスクールとは何か

～下諏訪町コミュニティスクールと
諏訪湖ロータリークラブとの協働～

下諏訪南小学校 河西敏夫校長

本日は河西校長先生にコミュニティスクールのお話をいただきました。なんとなく新聞で見聞きしていたことの基本概念を理解することができ、今後ロータリークラブと学校の在り方について多くの示唆をいただきました。

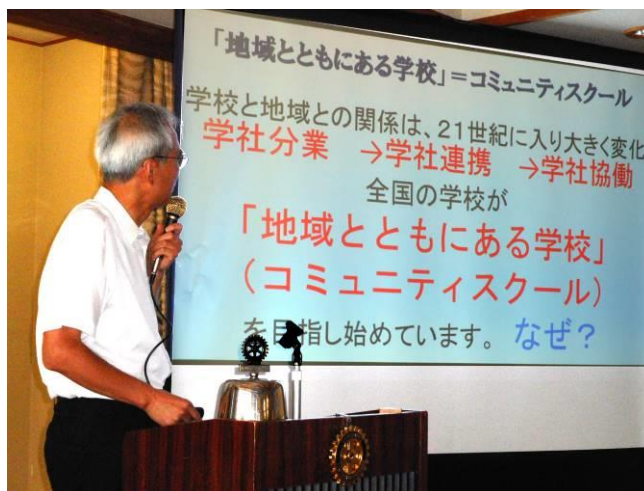
お話しいただいた一部を紹介いたします。

「地域とともにある学校」=コミュニティスクール
学校と地域との関係は、21世紀に入り 学社分業
→学社連携 →学社協働 と大きく変化しました。
結果全国の学校が「地域とともにある学校」(コミュニティスクール)を目指し始めています。
驚異的な経済復興の時代には、



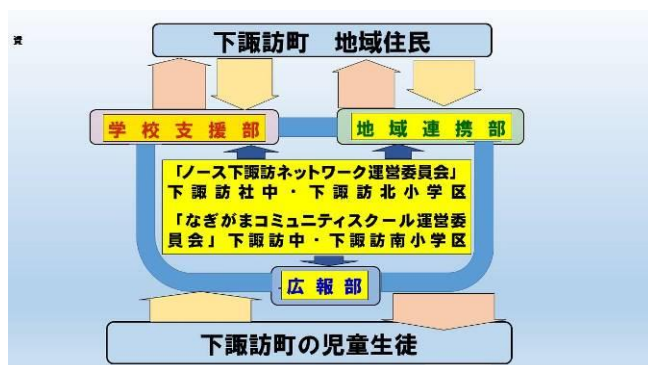
教育の目標:すべての国民の教育水準の向上
→ 全国一律の教育(後に画一的との批判が)推進=教育は日本の経済成長に大きく貢献、物質的に豊かな社会を実現

その後、日本社会の課題も変化
売れる商品を、大量に生産・販売→多様なニーズ
に応え多種類の商品開発サービスという商品の
拡大 結果 → 教育課題も変化



「自立・協働・創造」を合言葉(国)に様々な改革
自立・獲得した知識・技能をツールとし課題解決
協働・異なった価値観をもつ人々とコミュニケーションにより意思疎通を図り協働
地域と学校との協働→「コミュニティスクール」
が求められる。

下諏訪町コミュニティスクール
組織については、町教育委員会要綱として28年
3月町議会で承認済み



- 1 既存組織の活用(信州型コミュニティスクール)「学校評議員会」と「学校支援地域本部」の機能を併せ持つ
 - 2 町の4校で2つのコミュニティスクール(小中一貫型)
 - 3 「学校支援部」とともに「地域連携部」「広報部」の部で構成
- 2, 3が、下諏訪町独自のもの